

～玉野海上保安部からのお願い～

SUPの際はライフジャケット着用を！

8月13日、男性2名がライフジャケットを着用せず海上でSUP中にSUP（※インフレーターブルタイプ）本体が破裂し海中に転落、救助を求める事故が発生しました。SUP使用の際には、次のポイントを心がけてください。

※インフレーターブルタイプとは、空気で膨らませるタイプです

◎事前の準備

- 天気予報や潮汐情報を収集し、海の状態を把握する
- 遊泳禁止区域や船の往来が多い場所など危険な海域は避ける
- SUPボード、パドル、リーシュコード、ライフジャケットについて、異常（エア漏れ等）が無いか確認する
- 単独で行う際は、誰かに連絡先と行動予定を伝える

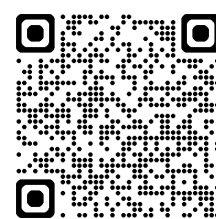
◎海に出る際に

- **ライフジャケットを着用する**
- リーシュコードを装着する
- 防水パック入り携帯電話など、連絡手段を持参する
- 風向きと風速に気をつける（流されたり、転覆の危険）
- 周囲の状況への注意（遊泳者や他の船舶の動きを把握する）



☆詳しくは「ウォーターセーフティガイド（SUP編）」

をご覧ください（→のQRコードからどうぞ）



＜万が一の際は＞

まわりの人に助けを求めて118番に電話！



岡山県のSUPによる海での事故例

1. SUPで釣り中に転覆（知識と技能不足）

50代男性が単独でSUPで釣り中、SUP上で姿勢を変えようとした際にバランスを崩し海中に転落。SUP上に備えていたクーラーボックスが邪魔をし、SUP上に上がれずにいたところ、付近にいた他のSUP利用者により曳航、救助されました。

2. SUPで釣り中に転覆（ライフジャケット未着用）

40代男性がライフジャケットを着用せずに単独でSUPで釣り中、何らかの波を受けバランスを崩し海中に転落。ライフジャケットを着用していなかったこともあり、SUP上に上がれずに泳ぐなどして漂流。その後、付近を航行していた漁船により救助されました。

3. 遊泳中の事故（資材の点検整備不良）

20～30代の男女4名が、それぞれレンタルSUPを使用中、2艇のパドルの先端部分が外れ漕ぐことが出来なくなり、他の2艇で曳航しようとしたましたが潮流に流され帰還不能となりました。このため、レンタル先等に救助を求め、結果、海上保安部の船により救助されました。



玉野海上保安部

☎ 0863-32-3589

ホームページ ⇒

